

このプリントは、全国や大阪府の学力・学習状況調査などで、みなさんが苦手としていた問題を集めたものです。挑戦して、あなたのこれからの学習に役立ててください。

力だめしパートⅡ 中学校国語2②【書くこと】(読んで書く)

解答

書店へ職業体験に行った三人の中学生(中川さん、小林さん、山口さん)は、店長さんに本の広告カードの作成を頼まれました。次は、三人の作った広告カードと、三人が店長さんへ話をしている様子「A」です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。



○広告カードの作成を依頼された本

〈中川さんの広告カード〉

ぼくらはいつも迷コンビ?

知性派の創世としげゆるぶつうの中学生 内入。二人の冒険はもう上まらない。今度はやめたい洋館へ参上!

同世代として共感すること間違いなし!

都会のトム&ソーヤ

〈小林さんの広告カード〉

はやみねがふるまの 人気シリーズ

都会のトム&ソーヤ

わが校はじめて探の天才といわれる創世と平凡な中学生 内入。二人が繰り広げる冒険はかなり変な。今度今度はやめたい洋館へ参上!

あなたのクラスにもこの本はありますか?

〈山口さんの広告カード〉

内人くん、冒険のはじまりだよ

いつだってこうして創世との冒険がはじまる。創世の頭脳と内人のサバイバル知能があれば向かうところ敵なし!?

中学生コンビが今回挑むのはわが校屋敷。この冒険は見逃さない。

中学生必読!!の一冊です。

都会のトム&ソーヤ

〈店長さんが紹介してくれた広告カード〉

大人だって子どもだってこの本読めばトムソーヤ。

創世と内人が繰り広げる冒険は、とてもユニーク。今度話柄事件にまき込まれる!? 読めば、子どもは冒険気分。大人は子どものころのワクワクした気持ちがよみがえるはず。すべての人に夢と希望を与えてくれる一冊です。

都会のトム&ソーヤ

○店員さんが同じシリーズの本について作った広告カード

【A】 店長さん ①これは、本の題名がすぐに目に飛び込んでくる点がいいね。やはり、魅力的な題名の本はよく売れるからね。

②こつちのカードは、コピーにひかれるなあ。五音や七音は日本人の心にしっくりくるリズムなので、印象に残るんだよ。

③このカードは、本文中の強烈な一文を引用してコピーにしたアイデアがいいなあ。本文をちらつと見せるのも、読んでみたい気にさせるのに効果的なんだよ。

中川さん ありがとうございます。この五日間の職業体験で、店員さんがつくられた魅力的な広告カードをたくさん見ることができたので、とても参考になりました。

小林さん 思った以上に、お客様が広告カードを読まれていたことにも驚きました。そして、そういうお客様は、いろんなカードの前で立ち止まってじっくり読んで、やはりそこで紹介されている本を買っていかれましたね。

山口さん 店員さんの広告カードは、読者であるお客様と同じ目線で書かれているのがいいのですね。

店長さん いいところに気づいたね。そういう意味では、君たちのカードに加えてほしい視点があるんだよ。いろんなお客様に読んでもらって、楽しい気分を味わっていただきたいんだ。

(注) コピー||読み手の注意を引く広告文。宣伝文句。

(問い一) 「A」の中で、店長さんが評価している①、②、③のうちのカード。このカードは、それぞれだれの広告カードに当たりますか。次の1から4のうち、広告カードを書いた人の組み合わせとして最も適切なものを一つ選びなさい。

- | | | | |
|---|--------|--------|--------|
| 1 | ① 中川さん | ② 山口さん | ③ 小林さん |
| 2 | ① 中川さん | ② 小林さん | ③ 山口さん |
| 3 | ① 小林さん | ② 山口さん | ③ 中川さん |
| 4 | ① 小林さん | ② 中川さん | ③ 山口さん |

4

(問い二) 三人の作った広告カードには、「本の題名(書名)」のように共通して書かれている情報はいくつかあります。「本の題名(書名)」以外に共通して書かれている情報を二つ書きなさい。

著者名、登場人物、コピー、本の内容等

(問い三) 「A」の中に、このカードと君たちのカードを比べてもらえ。とありますが、四人の会話をふまえ、三人の作った広告カードと店長さんが紹介してくれた広告カードを比較して、その違いを説明しなさい。

例) 三人の作った広告カードは、中学生を対象に書かれているが、店長さんが紹介してくれた広告カードは中学生に限らず、幅広い年齢の読者を対象として書かれている。

複数の資料を読み比べ、その特徴をとらえ、説明することが求められています。その際、資料作成の目的をふまえたうえで、共通点や違いに注目することが大切です。また身の回りのさまざまな資料の特徴も考えてみましょう。



中学校の国語の授業で、「情報化社会を生きる私たちに必要なこと」というテーマの意見文を書いています。目標は、「構成を工夫して、自分の意見を明確に述べること」です。今日の授業では、ほぼ完成した意見文をグループ内で読んで話し合い、それを参考にして自分の意見文を推敲することになりました。次の文章は、同じグループの小森さんと村上さんが書いた意見文です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【小森さんの意見文】(1から3は段落の番号を表します。)

1 現代は、メールが普及し、便利になっている。昔に比べると、気軽に素早くメッセージをやり取りできる時代になった。しかし、私たちは、こうした伝達手段によって、お互いを深く理解し合えていると言えるだろうか。逆に不十分なメッセージによって、誤解が生まれるようなことさえあるのではないだろうか。

2 先日、友達からこんな話を聞いた。ちよつとしたことでけんかをしてしまった仲の良い友達から「もう終わりにしようよ。」と書かれたメールが届いたのだそう。けんかをするのはもう終わりにして、また仲良くしようという意味なのか、もう友達つきあいは終わりにしようという意味なのか、悩んだと言っていた。

3 手軽なメールは、確かに便利である。しかし、そのためにお互いに直接会って話し合うようなコミュニケーションが軽視されるのでは意味がないと思う。

【村上さんの意見文】

情報があふれている社会で、私たちに必要なものは、必要な情報を選択する力と、情報の正しさを判断する力だと思う。この二つの力がなければ、私たちは情報に流されてしまうのではないだろうか。私は、一年生のときに失敗してしまった経験がある。夏休みの自由研究で「絶滅の恐れがある野生動物」というテーマのレポートを作成し、提出した。ところが、参考にしたインターネットのホームページの内容が正しいかどうか疑問だという指摘を先生からいただいたのだ。私は、改めてホームページを確かめてみた。すると、五年前から一度も更新されていないものや、地球上の一部の地域のことしか取り上げていないものがあった。情報を何も考えずに受け入れてしまうことは、とても危険である。情報をうのみにせず、本当に必要なものを選び、正しく判断できる力こそ私たちに求められているものなのだ。

(問い二) 小森さんは、「村上さんの意見文」を読んで、自分の意見の書き出しに次の一文を書き加えることにしました。

情報化社会と呼ばれる現代だからこそ、お互いに顔を合わせてのコミュニケーションを大切にすることが必要だ。

このことから、小森さんが村上さんの意見文をどのように評価したことがわかりますか。次の1から4のうち、最も適切なもの一つを選びなさい。

- 1 村上さんの意見文は、読み手に問いかけるように自分の体験を紹介しているため、読み手の共感を誘う部分が良い。
- 2 村上さんの意見文は、多くの人が感じる疑問から書き始めているため、読み手が話題をとらえやすい点が良い。
- 3 村上さんの意見文は、身近な例を挙げて説明しているため、書き手の考えが読み手に具体的に示される点が良い。
- 4 村上さんの意見文は、結論を述べてから論を展開しているため、書き手の考えが読み手に明確に伝わる点が良い。

4

(問い二) 村上さんは、「小森さんの意見文」を読んで、内容ごとに段落を分けている点が良いと思いました。そこで、小森さんの書き方を参考に段落を分けることにします。次の文章は、そのことを説明したものです。あとの1から4のうち、アからカの組み合わせとして最も適切なものを一つ選び、文章を完成させなさい。

【小森さんの意見文】の三つの段落は、

ア 「問題提起」、「まとめ」、「具体例」	イ 「問題提起」、「具体例」、「まとめ」	ウ 「私には、一年生の時に」	エ 「私は、改めて」
の順に分けられている。		オ 「情報を何も考えずに」	カ 「情報をうのみにせず」
		の前と	の前で改行して、

これにならうと、【村上さんの意見文】は、

三つの段落に分けると良い。

- 4 3 2 1
- イ イ ア ア
- ・ ・ ・ ・
- エ ウ エ ウ
- ・ ・ ・ ・
- カ オ カ オ

3

説得力のある文章を書くには、わかりやすい論理の展開とそれにあった適切な段落を設けることが大切です。推敲のときには、それらの観点で文章を読み返すようにしましょう。



中学生の大木さんの学級（三年二組）では、「総合的な学習の時間」でお世話になって池田さんに、お礼の手紙を出すことにしました。次はその手紙の下書きです。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

前略

新緑がまぶしい季節になりました。

池田さんにおかれましては、お変わりなくお過ごしのことと思います。私たち三年二組の生徒一同も毎日元気に過ごしています。

、先日はこの町に伝わる踊りを指導してくださり、ありがとうございました。実際に踊ってみたのは初めてだったので、最初はとまどいました。でも、笛の音色に合わせて踊るうちにだんだん慣れてきて、楽しく踊ることができました。一番心に残ったのは、「百数十年続いたこの踊りを、あなたたちの手で次の世代へ伝えていってほしい。」とおっしゃった言葉です。昔から今に伝わる文化を大切にしていきたいと思いました。最後にになりましたが、池田さんのご健康をお祈り申し上げます。また、お会いできる日を楽しみにしております。

敬具

ア

(問い一) 前略という書き出しは、この語の後に書かれている内容や、結語（結びの語）の敬具の対応から見てふさわしくないもので、変更しようと思います。次の1から4のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 追伸
- 2 拝啓
- 3 草々
- 4 以上

2

(問い二) は、要件に入るときに接続の言葉を入れたいと思います。次の1から4のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 さて
- 2 しかし
- 3 しかも
- 4 そして

1

(問い三) の部分には、どのような言葉をどの位置に書くときよいですか。次の1から4のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

ア

1

三年二組一同

五月十五日

池田三郎様

2

五月十五日

三年二組一同

池田三郎様

3

三年二組一同

五月十五日

池田三郎様

4

五月十五日

三年二組一同

池田三郎様

2

手紙では、出す相手に失礼のないように書くことが大切で、決まりごとがあります。問い1は「頭語と結語」、問い3は「後付」という決まりごとです。いろいろな決まりごとを調べ、覚えておくと便利です。

